

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良く なっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・北陸新幹線元年として、想像以上に良い出足だ。3月から比べても、金沢市のみならず能登や加賀地区も売上を伸ばしてきた。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線開業により、集客も単価も伸びている。特に和食部門の集客は例年に対して120%ほどに増加している。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比総売上96.4%、宿泊人数104.5%、宿泊単価93.4%であった。高価格帯の2フロアが改修工事で、販売可能客室が減少していたのが原因である。大型団体宿泊の影響で個人客の予約比率が低下し、総売上と宿泊単価が前年を下回った。売上計画に対しては総売上104.6%、宿泊人員は115.5%と上回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線開業効果で、宿泊部門は前年の70%程度増、宴会は前年並み、レストランはやや増加する見込みである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・北陸新幹線が開業して1か月以上経過し、観光客が増加している。また、ビジネスでも人が増加している状況である。観光スポットや夜の繁華街でも客は増加している。平日でも人が多い。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年同月比ベースで、4月は国内団体客、個人客、それに加え海外からのインバウンド客も増加傾向にある。原因としては、北陸新幹線の開業により全国的な注目度がアップしていることが大きいと思われる。
やや良く なっている		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・北陸新幹線開業直後は、駅への一極集中的な感じがあったが、1か月が経過して徐々に客数も増えてきた。このまま景気が回復すると思われる。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・各営業の仕入、売上額ともに数値が全体的に微増した。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客の買物状況を見ると、買上単価が幾分上昇しているものの買上点数はより厳しくなっているように思われる。食品、雑貨、酒は、前年の買い控えや、野菜の高騰などもあり、伸びているのだと思われる。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品の値上げにより1点単価の上昇が続いていることに加えて、1人当たり買上点数もやや上昇をしていることから上向きと思われる。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・消費税増税の月であった昨年の4月とは大きく状況が違うが、2～3月からみても4月は、全体的にこれまで前年を割っていた来客数が、前年を超えてきている状況である。そうした中で、生鮮の相場ということでは特に青果物中心に単価も上げ基調である。実質の売上高としては大変良い状況である。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・3か月前まではものすごく前年割れしていたのだが、今月は前年比101%ということで、前年割れが止まった。実際の客の流れを見ると、天気が良いせいもあるが、以前のような活気がある状態に戻りつつある。ただ、前年はたばこの値上げ直後の月ということもあり、前々年と比べて激しく落ち込んでいたということを考えると、横ばいに近いという気もするが、前年比をようやく超えることができたので、やや良くなったと思う。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・昨年の消費税増税の反動時期と比べると販売数量が伸びている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・4月の販売量は前年同月比82%である。1月の販売量は前年同月比70%だったので、3か月前と比較して上向きである。
		住関連専門店（店員）	単価の動き	・ラタン家具やガーデンファニチャーなど、走り出した季節商品の分野で、高額品の動きが例年より良くなっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・北陸新幹線開業に合わせた改装の効果があり、全体で昨年の販売量を上回った。
		一般レストラン（統括）	来客数の動き	・地元客が県外の客を連れて来店することで、来客数が増加している。また県外客はそのような情報を聞いて来店するなど、北陸新幹線効果が見られる。

	スナック（経営者）	来客数の動き	・4月は選挙があり少々心配をしていたが、影響はそれほどでもなく非常に良かった。前年4月の9割といった感じである。連休があり20日過ぎから少し悪くなってきているが、食事処やホテルは忙しいと聞いている。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・北陸新幹線開業効果もあり、4月の入込人数が前年比20%増加した。
	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・北陸新幹線開業に合わせて需要が増加している。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・先月まで契約数の増加数が鈍る傾向となっていたが、今月は増加傾向に転じている。競合事業者は営業手法を変更しているが、それが当社にとって良い方向に出ていると考えている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・3月は10%近く来客数、売上とも落ち込んだが、今月はそれをほぼカバーできる勢いである。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・各地区とも展示場来場者数は前年度比プラスに上向いている。ただ、客に紹介する住宅用の土地の調達などに時間を要し、折衝から契約までも同じく時間がかかるようになってきている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・契約件数及び契約額ともに前年比大幅プラスとなった。今まで消費税増税後の反動減が続いていたが、ここに来て消費者マインドが積極的になっている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3～4月の販売数が増加してきている。このままの状況が続くか、一時的な動きで終わるかは、今後の2か月の業績で判断できると考えられる。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・天候の変動に客も品揃えも付いていくのが容易ではない状況である。春が抜けた状況だ。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・最近の気候の傾向ではあるが、「寒」から一気に「暑」にかわり、春物の需要が飛んでしまった。衣料品などは特に顕著で、客も買い控え気味で、その分の売上減はばん回できそうにない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・3月に北陸新幹線が開業し、観光客は確かに増加しているようだ。当商店街は物販が主体であり、売上増加、収益増加にはあまり関係がなく、例年と変わりない。なお、当商店街近隣の飲食店やデパートなどでは、観光客が増加している。
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・来客数は微増だが、販売量、客単価が上がらず、景気が良いとは言えない。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・昨年4月は消費税増税後ということで、前年同月比で2～3割落ち込んだ。現状は前年同月比で1割ほど増となっているが、前年の落ち方から考えると良い数字ではない。北陸新幹線が開業し、ファッション商材に関しては東京で購入しようという声が多いが、食品については良い物を買って自宅でちょっとぜいたくをしようという傾向が出てきている。いずれにせよ、全体的にはまだ何ともつかみがたい状況が続いている。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・昨様が消費税増税の月だったため単純に比較できないが、4月の売上高は一昨年と比較して上回っている。特に4月は1品当りの単価が前年比4.3%伸びているが、要因は加工食品などの値上げの影響と思われる。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価は前年を超えているが、来客数の落ち込みは変わっていない。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・チェーン全体の特別セールがあった影響か、前年同月比の売上は若干増加しているが、来客数の前年同月比などをみると以前と変化していない。売上増加は一過性のものであると考えている。
	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・前々月や前月からの推移では来客数の大幅増は見られないものの、前年が消費税増税で悪化していたこともあり、前年比では良かった。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・北陸新幹線開業で、現在消費に大きな変化は見られない。しかし、客の選択肢は大きく増加していくことだろう。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・当地では北陸新幹線開業により好調な業種もあると聞くが、衣料品に関しては引き続き低調であり、厳しい状況に変わりはない。
	衣料品専門店（総括）	お客様の様子	・衣料品業界全体がよくなっているわけではない。一定の枠を同業者で取り合っている状態は続く。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・4月に入り、新車、中古車ともに3月より売上がかなり落ちている。	

	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・今月はタイヤ履き替え需要もあって、消費税増税の反動もあった前年度からは大きな伸びとなっているが、肝心の集客は伸びていない。また、客単価も上がっていない状況で、メンテナンスも含めて低迷している状況である。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・花見の時期に少し期待をしたがやはり悪い。歓迎会などでもそれほど多く酒が動いている様子がない。こじんまりとした歓迎会などが多くなっているのではないかと思われる。
	その他小売〔ショッピングセンター〕	単価の動き	・消費税増税の影響が大きかった消耗品、洗剤、化粧品などの数字が戻ってきた。期待していた春物衣料、寝具、インテリアは低温の影響で大苦戦になった。
	都市型ホテル（役員）	販売量の動き	・北陸新幹線開業と立山黒部アルペンルートの開通により、宿泊部門は好調に推移している。一方でレストランおよび婚礼は横ばいである。一般宴会の微減により、全体では前年と同程度となった。
	タクシー運転手	販売量の動き	・北陸新幹線が開業して客は増えたが、観光客は相変わらず郊外の有名観光地に行く。
	通信会社（役員）	お客様の様子	・例年商戦期のものであり契約数は変わらず獲得できているが、問い合わせ数など客の反応は若干鈍い。
	その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・新年度に入り創業記念セールを大々的にPRして会員獲得を試みているが、思うように集客が伸びてこない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・省エネ住宅ポイントの受付が始まったが、前回ほど客の活気が感じられない。
やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・北陸新幹線が開業し、客が多方面に流れているのではないかと思う。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・先月に続き4月に入ってから、地方客、観光客とも駅の方に客足が集中している。観光客は洋服やバッグなどは購入しないことから、土曜日や日曜日の売上が平日並みで、逆に旅行を計画している客が購入に来店する平日が、通常の土曜日や日曜日並みに売上が取れている状態である。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・当地商店街では、楽器店、雑貨店は非常に低調だが、玩具店、酒屋は非常に好調である。理由として、玩具店、酒屋は県外客が20%以上を占めている。また、天ぷらや魚料理を扱っている店も好調である。近辺のホテルに宿泊する人たちで混雑しているそうである。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新型車が発表され期待をかけたが、来場数が多くならない。購入については時間が長くなっている。
	通信会社（店舗統括）	来客数の動き	・4月に入ってから来客数が大幅に減っている。
	悪くなっている	通信会社（営業担当）	来客数の動き
企業動向関連 (北陸)	良くなっている やや良くなっている	-	-
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上は増加している。
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場では省エネ補助金による引き合いが増えている。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内営業からは、東北など一部エリアは引き続き厳しい状況ながらも、ここへ来てようやく北海道や沖縄を含め、特に大都市圏では市況としては良くなってきたとの報告を受けている。
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・軽油価格下落の影響が強いが売上也悪くなく、これからの良い状況は続くと思う。
	金融業（融資担当）	受注価格や販売価格の動き	・日経平均が2万円を超えたあたりから、所有株式の含み損がなくなりつつあることで、気持ちの余裕もでてきた様子である。製品価格の引上げが進み、末端にも資金が回りつつあると思う。建設業の人からは、富山県の新美術館の落札価格が引上げになり、安堵の声が多数ある。このまま積算価格が引上げになれば、資金も回るとのことである。先月よりネガティブな話題は少ない。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者から聞いた話では、情報としては少し動きが出てきているという意見がよく聞かれた。

	司法書士	取引先の様子	・会社分割、会社合併といった組織変更や、会社設立など、会社の登記が増加している。	
	税理士（所長）	取引先の様子	・景気は持続的な感じで良くなっているのが実感できる。取引先の販売量や取引量、下請け企業の場合は大手企業からの受注案件の引き合いが安定しているようであり、仕事量自体は増加している。材料費などの高騰が懸念されているが、新聞で言われているほどには問題は出てきておらず、大丈夫ではないかと思う。	
変わらない	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・廉価品、付加価値品ともに販売数量、販売価格ともここ数か月は変化は見られず、周りの環境変化は感じられない。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スポーツ関連の受注に勢いがなく、受注量は前年同期と同レベルに終わっている。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・衣料、非衣料を問わず、全体的に稼働状況はまあまあである。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月の年度末工期の工事が全て完了し、手持ちの工事量が少なくなっているが、これは例年のことであり、新年度発注工事も出始めているので、景気の上向き下向きの判断はできない。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工事の見積りや引き合いに対して、施工技術者が不足しているため施工能力が限界状態で、現状維持が手一杯の状況となっている。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・北陸新幹線の影響で人の出入りは多くなっており、荷物の到着は多少増えていると感じられるが、荷物の発送については増加の傾向は感じられない。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・北陸新幹線開業以降、街中のにぎわいは増えている。ホテルの稼働率や飲食店の売上も向上していると聞こえてくる。一方、地元日用品の売上や地元百貨店の売上が目立った向上に至らず、景気はやや良いとは思いますが、大幅に良くなっているとまでは言えない。	
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	
(北陸)	雇用関連	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が増加傾向にある。また一方で、新規求職者が減少しているという状況が続いていることから、今のところ景気は良くなっていると考えている。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き	・4月の求人売上は、特に金沢で前年実績比で2割増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・これまで高校生を採用し続けてきた企業が、昨年の募集では全く取れなくなったという話があった。理由を聞くと、採用対象の学生がほとんど大企業の採用で決まってしまう、その企業が手を挙げるころにはいなくなっていたという話があった。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・26年12月と27年3月の新規求人数を比較すると、1596人から2070人と29.7%増となった。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・技術職、専門職の人材確保や派遣システムでの労働強化について、真剣に取り組んでいかねばならない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・専門職での求人の引き合いは増え続けているが、派遣料金の折り合いがつきにくいいためマッチング率が低い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数はほとんど変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の変動があまりない状況であることから、大きな変動はないと思われる。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・1～2月は受注数が増加したが、3月になって平年並みに減少した。北陸新幹線開業に伴って雇用が増えたということもない。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・引き続き求人数は微増ではあるが、特に変化はない。
やや悪くなっている		-	-	-
悪くなっている	-	-	-	